





2013年度派遣 公共政策学教育部 ダブル・ディグリー生募集要項

注: WB, ADB, IMFの奨学生においてはEx. DDともに対象外となります。

協定校	 School of International and Public Affairs Columbia University コロンビア大学 国際公共政策大学院 (SIPA) http://www.sipa.columbia.edu/	 シンガポール国立大学(NUS) リー・クアンユー公共政策大学院 (LKY-SPP) http://www.spp.nus.edu.sg/	 パリ政治学院(シアンスポ) (Sciences Po.) http://sciences-po.eu/	 パリ政治学院(シアンスポ) (Sciences Po.) http://sciences-po.eu/
所在地	アメリカ合衆国、ニューヨーク	シンガポール	フランス、パリ	ドイツ、ベルリン
募集締切	2012年11月7日(水)正午まで(厳守)			
募集人数	1～2名	1～2名	1～2名	1～2名
派遣期間 *派遣人数によって期間 が変わります	2013年9月～2014年5月 Academic Year 2013-2014	2013年8月～2014年5月 Academic Year 2013-2014	2013年9月～2014年5月 Academic Year 2013-2014	2013年9月～2014年5月 Academic Year 2013-2014
東大での身分	「留学」			
派遣先での身分	正規学生 (degree student)			
授業料	派遣期間中は派遣先で授業料を納入。東大では不徴収。			
単位認定	東大で「留学」の場合は、単位認定申請により認められた場合は23単位を超えない範囲で認定。			
奨学金制度	1. 東京大学国際学術交流活動奨励事業による奨励費 への申請可 2. 公共政策大学院国際化推進プログラム寄付金奨学制度 への申請可 4. 留学生交流支援制度(短期派遣)(JASSO) への申請可 5. 留学生交流支援制度(長期派遣)(JASSO) への申請可 **受給は審査合格者のみ			
応募資格	①東京大学公共政策学教育部正規課程に在籍する学生であること ②TOEFLスコア: iBT100点以上。 ③派遣時点において基礎的なミクロ経済・マクロ経済を履修済みの者。 ④GRE受験必須。	①東京大学公共政策学教育部正規課程に在籍する学生であること ②TOEFL iBT 100点以上。 ③派遣時において基礎的な数学及び経済学を履修済みの者が望ましい。	①東京大学公共政策学教育部正規課程に在籍する学生であること ②TOEFL iBT 107点 (IELTS 7)以上。	①東京大学公共政策学教育部正規課程に在籍する学生であること ②TOEFL iBT 100点以上。
単位換算 (※コア科目については 例外あり)	SIPA 3points = UT2単位	LKY4MSc= UT3単位	SciencesPo.5 credits (ECTS) = UT 2単位	Hertie 6 credits (ECTS) = UT 2単位
応募書類 公共政策学教育部提出 用	①ダブルディグリー留学申請調書 ②TOEFL成績証明書 (原本又は写) *過去2年以内に受験したものに限る。 ③GraSPP側での面接合格者には、成績証明書(英文)の原本又は写の提出を求めますので準備しておいてください。 ***各大学への提出書類は合格者に直接通知する。			
応募書類提出方法 提出先	応募書類は電子データで提出してください。 電子データ提出先: e-mail: exchange@pp.u-tokyo.ac.jp 東京大学大学院公共政策学教育部 国際企画チーム 交換留学プログラム担当: 矢嶋 629号室			

問い合わせ先	問い合わせはE-mailにて受け付けます。 exchange@pp.u-tokyo.ac.jp (国際企画チーム 交換留学プログラム担当: 矢嶋)			
スケジュール (目安) (予定は変更される場合があります)	募集締切: 2012年11月7日(水) 正午 書類選考: 11月中旬 GraSPP教員の面接: 11月16日(金)(予定) GraSPP側での合格者決定: 12月中旬 派遣先への書類送付: 2月上旬			
	SIPAへの書類提出: 2月上旬 SIPAより合格者決定: 2月下旬 SIPAへのオンライン申請: 2月下旬 ビザ手続き、その他準備: 3~7月 出発: 7/8月 授業開始: 9月6日(火) オリエンテーション 8月末 ALP program: English for Professional Purposes: International and Public Affairs 英語集中コース: 7月下旬より3週間程、受講することが求められることがある	LKY-SPPより合格者決定: 3月上旬~4月上旬 LKY-SPPへの入学手続き書類提出: 4月中旬(直接郵送) ビザ手続き、その他準備: 3~7月 出発: 8月上旬 オリエンテーション: 8月上旬 授業開始: 8月中旬	シアンスポへの追加申請書類提出: 4月 シアンスポより合格者決定: 5月中旬 シアンスポへの入学手続き書類提出: 5月末~6月 ビザ手続き、その他準備: 3~8月 出発: 8月下旬 オリエンテーション: 8月末~9月上旬 授業開始: 9月上旬	HSoGより合格者決定: 2月下旬-3月上旬 HSoGへの書類提出: 3月~ ビザ手続き、その他準備: 3~8月 出発: 8月下旬 オリエンテーション: 8月末~9月上旬 授業開始: 9月上旬
	http://ce.columbia.edu/American-Language-Program			
注意事項	GraSPP側でSIPA DDで合格された方は、GREスコアを2月上旬に提出できるように、早めに準備を始めるようにしてください。			
	GraSPP側で合格された方は、以下の書類が必要になりますので、早めに準備を始めるようにしてください。 Resume/CV Personal Statement Recommendation Letter (1) SIPA、LKY、SciencesPo.様式のapplication form 等			
	また、派遣先大学への手続きは年度により変更となることがありますので、最新の情報については派遣先大学からの指示を待ってください。			

大学別応募要領				
特色	コロンビア大学は、ニューヨーク市マンハッタン島にあることから、国際的ビジネス・国際金融センターに関連する分野、国際連合本部などを通じた国際開発分野などに、強みがあります。	<ul style="list-style-type: none">・LKY－SPPでは、東南アジア諸国からの留学生が多く学習しており、多くのアジア諸国の学生と肩を並べて学習できる利点があります。・アジアの近隣諸国に低価格の航空代金で簡単に移動できる強み	<ul style="list-style-type: none">・フランス独自の制度、グランセコール（エリート養成のために国家が設置している高等教育研究機関）。9つあるシアンスポのうち、パリは一番古く、別格で、歴代フランス大統領などを数多く輩出してきました。即戦力となる幹部公務員や企業幹部の養成を目的としています。主にフランス語で行われる12専攻のほか、MPA、MBAの授業は英語のみで行われます。英語のMPA（Master of Public Affairs）の授業を受ける場合（GraSPPからの派遣は主にMPAとMIA）は、職業経験のある学生、又はフランス語の知識のある学生を歓迎します。・ヨーロッパ圏内を比較的簡単に移動できる強み・パリにはOECD本部があり、OECDでのインターンシップにチャレンジ出来る可能性がある。	<ul style="list-style-type: none">・フランス独自の制度、グランセコール（エリート養成のために国家が設置している高等教育研究機関）。9つあるシアンスポのうち、パリは一番古く、別格で、歴代フランス大統領などを数多く輩出してきました。即戦力となる幹部公務員や企業幹部の養成を目的としています。主にフランス語で行われる12専攻のほか、MPA、MBAの授業は英語のみで行われます。英語のMPA（Master of Public Affairs）の授業を受ける場合（GraSPPからの派遣は主にMPAとMIA）は、職業経験のある学生、又はフランス語の知識のある学生を歓迎します。・ヨーロッパ圏内を比較的簡単に移動できる強み・パリにはOECD本部があり、OECDでのインターンシップにチャレンジ出来る可能性がある。
参考HP	http://www.sipa.columbia.edu/	http://www.spp.nus.edu.sg/	http://mpa.sciences-po.fr/	http://www.hertie-school.org/
			http://sciences-po.eu/	
趣旨と前提条件	<p>①この留学制度は、東京大学大学院公共政策学教育部に在籍中の学生が対象です（来年度から入学が決まっている学生も応募することができます）。なお、この留学制度の趣旨は、英語を上達させるための語学留学ではなく、すでに基礎学力があり、英語も十分できる学生が、その語学力を生かして東京大学公共政策学教育部とは異なる環境で学習し、学位を取ることです。その趣旨を十分ご理解の上、応募ください。おもな前提条件は、TOEFL（コンピュータ・ベース）で250点、大学によってはミクロ・マクロ経済学の、又は経済学と数学の最低基礎レベル（学部で学習済みでも可）を履修済みであることです。それは、一年時にミクロ経済学、またはミクロ・マクロ経済学の履修を義務付けているので、対等の基礎学力を前提とするためです。</p> <p>②こちらの基準をクリアしていても、スタートアップ講習等の補習が必要と派遣先大学が判断した場合には、補修を受けなければならない場合があります。その場合の費用は自己負担です。</p> <p>③派遣先大学への入学手続き、ビザの申請、宿舍の準備、単位認定の調査・申請等、留学に係るすべての手続き及び準備は自己の責任において行ってください。</p> <p>④留学のために発生する費用はすべて自己で負担していただきます。</p>			
履修済み前提	派遣時点において、 Micro for Public Policy、もしくはMicroeconomics, Macro for Public Policy もしくはMacroeconomics を派遣時において、Statisticsが履修済みが望ましい。			
留学中の身分と授業料	このダブルディグリー留学制度では、東京大学においては、「留学」という身分で、協定大学へ留学していただきます。 派遣先大学では、正規学生となります。 双方の条件をみたせば、協定大学と東京大学の両方の学位を取ることが出来ます。 留学期間中の授業料は留学先の協定大学へ納め、2012年冬学期および2013年夏は東京大学への授業料は納入しません。			
単位認定・振り替えについて	本人の申請により、帰国後に協定大学において履修した科目を東京大学において単位認定する予定です。内容、授業時間、単位数等を東京大学の規則に則り認定の可否を審議しますので、すべての単位が認定されるわけではありません。修了要件を満たすためにしっかりとスケジュールを立て、取りたいクラスが決まった時点で東大で認定可能かどうかよく確認するようにしてください（事前認定制度のご利用をお勧めします）。派遣確定後、履修計画を立て、Academic Advisorとの確認作業を行ってください。			

留学モデルコース	留学して、単位互換のうえ、東京大学に戻り、東京大学公共政策学教育部での在学期間を2年間で終えるためには、次のようなモデルコースが考えられます。			
	留学期間は、1年間です。SIPAの授業期間は、おおそ、秋学期は、9月第1週より12月まで、春学期は、1月下旬から5月です。 (A) 秋(冬学期)に東京大学に入学し、1年間在籍。2年生の冬学期から留学、派遣先大学に1年在籍し、卒業。(計2年間) (B) 4月に東京大学に入学し、半年間在籍。同じ年の秋(冬学期)から留学。2年生の冬学期からは東京大学に再び半年間在籍し、卒業。(計2年間) (C) 4月に入学し、2年生の秋(冬学期)から1年間留学し、3年目の秋に卒業。(計2年半)	留学期間は、1年間です。LKY-SPPの授業期間は、おおそ、秋学期は8月第2週より12月まで、春学期は1月上旬から5月上旬までです。 (A) 秋(冬学期)に東京大学に入学し、1年間在籍。2年生の秋(冬学期)から留学、派遣先大学に1年在籍し、卒業。(計2年間) (B) 4月に東京大学に入学し、半年間在籍。同じ年の秋(冬学期)から留学。2年生の秋(冬学期)からは東京大学に再び半年間在籍し、卒業。(計2年間) (C) 4月に入学し、2年生の秋(冬学期)から1年間留学し、3年目の秋に卒業。(計2年半)	留学期間は、1年間です。SciencePo.の授業期間は、おおそ、秋学期は、9月第1週より12月まで、春学期は、1月下旬から5月です。 (A) 秋(冬学期)に東京大学に入学し、1年間在籍。2年生の冬学期から留学、派遣先大学に1年在籍し、卒業。(計2年間) (B) 4月に東京大学に入学し、半年間在籍。同じ年の秋(冬学期)から留学。2年生の冬学期からは東京大学に再び半年間在籍し、卒業。(計2年間) (C) 4月に入学し、2年生の秋(冬学期)から1年間留学し3年目の秋に卒業。(計2年半)	留学期間は、1年間です。HSoGの授業期間は、おおそ、秋学期は、9月第1週より12月まで、春学期は、1月下旬から5月です。 (A) 秋(冬学期)に東京大学に入学し、1年間在籍。2年生の冬学期から留学、派遣先大学に1年在籍し、卒業。(計2年間) (B) 4月に東京大学に入学し、半年間在籍。同じ年の秋(冬学期)から留学。2年生の冬学期からは東京大学に再び半年間在籍し、卒業。(計2年間) (C) 4月に入学し、2年生の秋(冬学期)から1年間留学し3年目の秋に卒業。(計2年半)
費用	前述のように、留学期間中の授業料は、留学先大学に対して支払い、東京大学では授業料免除の扱いを受けます。留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、留学生として当然かかる経費はすべて自己負担となります。生活費や住宅事情は留学先により大きく異なりますので、各自リサーチをしてください。			
参考HP	学生寮への申請はできますが、民間のアパートも含め、早めにリサーチをするようにしてください。 Columbia University International Program and Services:	学生寮は、抽選制です。このほか、学生専用の寮(一軒家をシェアする)も大学の近くにあります。寮の費用は日本円でひと月約6～7万円です。	シアンスポには学生寮がないので、自分で探さなければなりません。下記のサイトのハウジング情報から、早めにリサーチするようにしてください。特に、フランス学生ビザの申請には、住居証明が必要になりますので、5月頃には住居を確定していることをお勧めします。	HSoGIには学生寮がないので、自分で探さなければなりません。下記のサイトのハウジング情報から、早めにリサーチするようにしてください。
	Columbia University International Program and Services: http://www.columbia.edu/cu/isso/	http://www.nus.edu.sg/osa/international/	http://www.international.sciences-po.fr/en/living-france	http://www.hertie-school.org/campus/student-services/housing/